

昨年度の進路状況を見ますと、四年制大学進学者が16%（一昨年18%）、短大14%（同15%）、専門学校34%（同30%）、そして就職が31%（同26%）となっています。大学・短大進学者が減少し、専門学校・就職が増加しました。進路先を見ると、大学・短大についてはほとんどが指定校推薦で進路決定をしているため、例年とほぼ同じ進路となっています。専門学校については、A0・自己推薦での進路決定が多くを占め、学校別に見ても名古屋市を中心にほぼ例年と同じような専門学校となっています。就職については、希望者のうちの93%が卒業までに内定をいただきました。一昨年が82%の内定率ですので、この春卒業した生徒諸君はとてもしっかり頑張ってくれました。

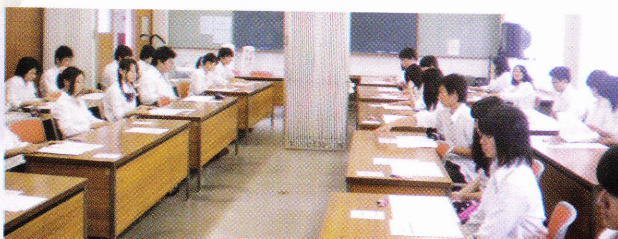
進路実現に必要なことは、一言でいうと「競争を勝ち抜いていくための実力をつける」ということとなります。進学も就職も、試験ではまず「学力」をみられます。進学校と呼ばれる高校の生徒は、授業だけでなく、家庭でも他の学習機関でも、学力を磨いていますし、模擬試験によって競い合っています。専門高校の生徒は、授業の中や検定受験で専門的な力を磨いています。

次に大学や企業から評価されるのは、その人の「人間力」です。高校生活の中の「部活動」「生徒会活動」「ボランティア活動」といったものからその人の「意欲」が判断されます。「挨拶」「言葉遣い」「マナー」などからは、その人の「コミュニケーション能力」が判断されます。面接や小論文、書類審査は、そのために行われます。

羽島高校では今、生徒の進路実現のため、次のような活動をしています。

1 進学補習・土曜学習

補習は、進学希望者を対象に放課後に行っています。外部模試や入試に対応した内容となっています。土曜学習は、土曜日の午前中、定期考査前の学習や、数学・英語の検定対策を目的として講義や問題演習、自習室の開放などを行っています。



土曜学習（数学検定）

2 ふれあい看護体験・2年生インターンシップ

ふれあい看護体験は5月と8月に行われます。全学年の生徒が対象で、看護医療系の進学・就職を考えている生徒に、積極的に参加するように呼びかけています。

インターンシップは、今年度から2年生の就職希望者全員を対象に、7月30日から8月22日のうちの3日間で行われます。教室では得られない貴重な就業体験や事前、事後の研修を通して、

働くことの意義や目的を考える契機にします。特に事前指導については、より充実した取組となるよう、総合的な学習の時間を利用して計画的に進めています。

3 キャリア教育アドバイザーの配置

県の「平成26年度キャリア教育アドバイザー配置事業」により、本年度もキャリア教育アドバイザーとして三輪薫さんに勤めていただいています。進路指導部・担任と協力して、保護者の皆様やお子様の就職に関する支援をしております。勤務日が火・水曜日の午前と木曜日の午後となっておりますので、ご相談がありましたら遠慮無く進路までご連絡ください。



キャリア教育アドバイザーによる個人面談

4 3年生進路別研修会

4月23日、6月11日、18日に3年生は、進路別研修会を行いました。岐阜県・愛知県を中心に、本校生徒の進学実績の高い大学・短大・専門学校から講師をお招きし、分科会形式で説明を受けました。就職希望者には就職対策講座を実施しました。進路決定を間近に控えた3年生にとって大変有意義な研修会となりました。



3年進路別研修会

最後になりましたが、保護者の方にはお願いがあります。それは、本人の意向を尊重することはとても大切なことですが、ぜひ保護者の方にもお子様の進路について積極的に関わっていただきたいということです。生徒たちは人生の重要な岐路に立っていて、多かれ少なかれ不安定になっています。そんなとき保護者の方のアドバイスは、とても重要な意味を持てきます。また進学・就職先でのミスマッチを防ぐためにも、家庭内で十分に話し合いをしてください。

またわからないことがありましたら、お気軽にご質問ください。お子様の進路実現に向け、学年団とも協力し、最大限の努力をして参りますのでよろしくお願い申し上げます。